

社団法人私立大学情報教育協会

平成 20 年度第 4 回被服学教育 FD/IT 活用研究委員会議事録

- I. 日時:平成 21 年 3 月 17 日(火) 午後 4 時 30 分から午後 6 時 30 分
- II. 場所:私立大学情報教育協会 事務局会議室
- III. 出席:高部委員長、鈴木委員、山口委員、阿部委員、田中委員、伊佐治委員
井端事務局長、森下、恩田

1. 分野別の詳細な学士力の検討について

平成 20 年度で分野別の学士力をとりまとめ、文部科学省に中間報告、私情協ジャーナルにも掲載したが、今回まとめた学士力は各分野の専門性を中心とした学士力であり、今後は基礎的能力を含めた学士力を検討し作成する。

中央教育審議会は「学士課程教育の構築に向けて」の答申を出し、大学教育の分野別質保証の検討項目として、①質保証の具体的方法、②教養教育と共通教育で行う具体的内容、③キャリア教育の教授法などを挙げてきている。

これらに対する検討結果が 6 月ごろに出される、平成 22 年 3 月頃に分野別の学士力の詳細が提案される予定である。

私情協としては現場の教員側からの目線に立った専門分野別のコアカリキュラム、水準、学習到達目標などまでも考慮した詳細な学士力の提案が必要と考えており、これらを今年 12 月ごろまでにまとめ上げ、文部省に報告する予定である。

2. 検討事項

○学士力の詳細設計について

- ・ 平成 20 年 11 月にまとめた学士力の項目を被服学としての基礎能力をも含ませたより具体的な学士力にする。
- ・ 資料③の学士課程共通の学習成果に関する参考指針に見られる、知識・理解、汎用的技能、態度・志向性を参考として、被服学固有の基礎となるものを考える。もちろん資料③の学士課程共通のものとオーバーラップしてもかまわない。特に、授業を理解できる能力、発展的に考えられる能力は被服というものの作りに欠かせないものである。

3. 今後の検討スケジュールについて

- ・ 各委員がそれぞれ平成 20 年 11 月にまとめた学士力の項目にさらに被服学として必要とされる基礎力を含ませた学士力案を考え、6 月中に私情協事務局に送付する。
- ・ 資料①の 3. 検討イメージ (1)学士力の検討の①②③を 12 月までに完成させる。具体的には、再度、被服学学士として必要と思われる基礎力を加味した学士力を詳細に作成し、A4 2 枚程度にまとめる。詳細は学士力のコアカリキュラム、水準、到達度まで含めた方向性を示すも

のを作成する。6月末までに提出したものを元に、コアカリキュラム、水準、到達度などについては分担して検討する。

- ・ 12月までに4回程度の委員会開催予定

4. その他

- ・ 次回の委員会開催日 7月11日(土) 14時00分～16時00分

- ・ 宿題 『被服学の学士力の基礎的な部分を考える。』

締め切り6月中

以上